

令和2年度公益財団法人富山市ファミリーパーク公社事業報告

1. 概要

公益財団法人富山市ファミリーパーク公社は、「動植物に関する知識の普及と野外レクリエーション等を通じて市民の健全な余暇活動に役立てる」という、富山市ファミリーパークの設立趣旨に基づき事業の推進に努めた。

また、「人を元気に、森を元気に、いのちを元気に、地域を元気に」をコンセプトに動物や里山の資源を活用するとともに、呉羽地域等との連携の強化を図り、市民が気軽に訪れ、楽しめる事業の充実を目指した。

令和2年度は、全国的な新型コロナウイルス感染拡大を受けて、春季に約1カ月間の臨時休園を行うとともに、例年開催されていた「悠久の森フェスタ」や「輝け！いのちの集い」等の事業を中止とした。

一方、呉羽丘陵を舞台にした「富山市SDGs未来都市計画」に関する取組に参画し、富山市や地域の各種団体、大学、企業等と連携を図りながら事業を推進した。

ライチョウ保護事業については、令和元年度に引き続き、環境省のライチョウ保護増殖事業計画に参画し、ライチョウの繁殖に取り組んだ。令和2年度は、より自然に近い方法での繁殖を目指し、母鳥による抱卵・育雛に取り組んだ。

また、富山市が整備したカピバラの展示施設の温水プールを「カピバラの湯」として、11月29日から展示公開した。

里山生態園については、ニホンザルの展示を再開するための再整備を当面保留することとされ、里山生態園の展示テーマ「人と動物の共存」の実現に向けて、ニホンザル以外の動物の展示を維持した。

さらに、富山市に設置された基金による熱帯鳥類の保全を目的とした施設整備に向けた実施設計について富山市と協議を行った。施設は令和3年度の建築工事、令和4年度の公開が予定されている。

(1) 新型コロナウイルス感染拡大防止対策と臨時休園について

新型コロナ感染拡大防止のため、国の緊急事態宣言等を受け4月15日から大型連休を含む5月10日までの26日間を臨時休園とした。

開園時には入園者用の手指消毒液の設置、マスク着用等の協力要請を行うなど感染拡大の防止に努めた。また、接触や密集による感染拡大を防止するため、動物とのふれあいや、エサやりガイドなどは中止とし、対策に努めた。

(2) 動物の感染症対策について

鳥インフルエンザ、豚熱の国内における流行を受け対策マニュアルを整備した。また、県や市の所管部所と情報を共有し、飼育動物への感染予防に努めた。鳥インフルエンザについては、1月の県内発生を受け全ての鳥類を室内での飼育管理にするため一部の鳥類の展示を休止した。

(3) 大雪の影響による臨時休園について

令和2年度の大雪により、園内及び施設の安全確保が困難となったため1月9日から15日まで及び2月18日の8日間を臨時休園とした。

(4) 入園者の状況について

令和2年度の入園者数は272,158人となり、前年比75,943人の減少となった。主な要因としては、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、4月15日から5月10日までを臨時休園したことや、大雪の影響によるものと考えられる。(参考：前年度同時期入園者数4月15日～5月10日82,650人、1月9日～1月15日2,829人)

一方、11月29日からカピバラ舎にオープンした「カピバラの湯」が好評で多くの入園者が訪れた。

① 施設利用状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区 分			令和 2 年度		前年度実績	
			人 数	金 額	人 数	金 額
入 園 者	有 料 エ リ ア	個 人 （ 大 人 ）	54,464人	27,232,000円	59,418人	29,709,000円
		7 0 歳 以 上	455人	113,750円	438人	109,500円
		団 体 ・ 大 人	5,283人	2,113,200円	7,528人	3,011,200円
		共通パスポート	3,756人		3,550人	
		有 料 計	63,958人	29,458,950円	70,934人	32,829,700円
		無 料 計	117,894人		174,120人	
		※内、「孫とおでかけ支援事業」利用者	19,835人 組数（6,516組）		19,322人 組数（6,325組）	
		計	181,852人		245,054人	
	無 料 エ リ ア 計		90,306人		103,047人	
小 計		272,158人	29,458,950円	348,101人	32,829,700円	
遊 具 使 用 者	有 料	子供列車	12,496人	2,499,200円	16,076人	3,215,200円
		アニマルコースター	14,419人	2,883,800円	17,448人	3,489,600円
		メリーゴーランド	13,358人	2,671,600円	16,331人	3,266,200円
		パラトルーパー	17,103人	3,420,600円	23,623人	4,724,600円
		キャラクターカー	11,805人	2,361,000円	14,279人	2,855,800円
		ボート	3,993人	1,597,200円	4,911人	1,964,400円
		メロディーペット	959人	191,800円	1,001人	200,200円
		電気周遊車	8,657人	865,700円	11,224人	1,122,400円
		計	82,790人	16,490,900円	104,893人	20,838,400円
	無 料 計		2,098人		3,283人	
小 計		84,888人	16,490,900円	108,176人	20,838,400円	
合 計			45,949,850円		53,668,100円	

② 売店・食堂等売上状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

		令和2年度	前年度実績	備 考		
販 売 収 入		22,521,966円	32,059,103円			
売 店	きりん食堂	3,257,525円	5,082,573円	109.87㎡		
	かふえムー	5,873,439円	5,922,720円	55.00㎡		
	2店計	9,130,964円	11,005,293円	164.87㎡		
食 堂	きりん食堂	1,513,130円	3,067,330円	309.13㎡	24卓	120脚
	かふえムー	5,706,450円	6,738,430円	250.00㎡	26卓	105脚
	2店計	7,219,580円	9,805,760円	559.13㎡	50卓	225脚
悠 々 ワ ゴ ン		311,600円	579,800円			
出 店 等		903,152円	4,675,200円			
ホ ー ス ラ イ ド		4,956,670円	5,993,050円	ゆらゆら乗馬、人参販売		
そ の 他 の 収 入		4,591,825円	6,890,795円			
ベビーカー使用料		344,200円	261,800円	60台		
バーベキュー使用料		531,000円	2,498,200円	ガス：10人掛×1卓・8人掛×9卓 炭：10人掛×5卓・4人掛×5卓 計 152脚		
自動販売機手数料		2,045,588円	2,262,480円			
そ の 他		1,671,037円	1,868,315円	移動販売手数料、バッテリーカー等		
事 業 収 入		27,113,791円	38,949,898円			
雑 収 入		2,057,702円	34,001円	持続化給付金 段ボール等リサイクル料		
合 計		29,171,493円	38,983,899円			

2. 動物管理事業

生物の多様性や人と動物の関わり、いのちの大切さを伝えることを目的に、動物の展示および教育啓発に努め、日本産動物及び外国産希少野生動物の飼育展示の充実や繁殖技術の確立、並びに日本在来家畜の保存活用に努めた。

また、昨年度に引き続き、環境省のライチョウ保護増殖事業計画に参画し、ライチョウの飼育繁殖技術の向上に努めた。

① 飼育展示事業

ミーアキャットやシバヤギの繁殖による親子展示を行い、いのちの大切さを伝えた。また、繁殖に取り組むためにフンボルトペンギン（オス1羽、メス1羽）やホンダタヌキ（メス1頭）などを搬入した。

ロ之島牛（メス1頭）、ホンダザル（オス1頭）、アミメキリン（メス1頭）などが死亡した。高齢な動物が増加してきており、引き続き体調を注意深く観察し、少しでも長生きするようサポートしながら飼育管理に努めた。

また、富山市が整備したカピバラの展示施設の温水プールを11月29日から「カピバラの湯」として展示公開し併せて、さまざまな催物を企画し、普及啓発に努めた。

一方、富山県内で鳥インフルエンザが発生したことを受け、1月からフラミンゴやペンギン、タンチョウなどは屋内施設へ移動し展示を休止した。また大雪の影響でバードハウスの階段などが崩壊したため展示を休止した。

		種数点数
飼育動物の種数(令和3年3月31日現在)		95種 816点
内 訳	哺乳類	44種 355点
	鳥類	33種 381点
	爬虫類	8種 21点
	両生類	4種 31点
	魚類	6種 28点
	甲殻類	0種 0点
増加動物の種数(令和2年4月1日～令和3年3月31日)		53種 211点
減少動物の種数(令和2年4月1日～令和3年3月31日)		78種 277点
(公財)日本動物園水族館協会 血統登録動物の種数		22種 83点

繁殖を目的とした貸借契約動物

	動物名(令和3年3月31日現在)
借り受け 動物	【哺乳類】 コモンリスザル(2)・ワオキツネザル(1)・アムールトラ(1) アムールヤマネコ(1)・シセンレッサーパンダ(3) ユーラシアカワウソ(2)・アミメキリン(1) グレビーシマウマ(1)・ニホンカモシカ(2) シンリンオオカミ(2)・ミーアキャット(1) ヨツユビハリネズミ(1)・ヒツジ(18)・チンチラ(1) 【鳥類】 ルリコンゴウインコ(2)・ニホンコウノトリ(1)・ミゾゴイ(1) メンフクロウ(1)・カンムリシロムク(4)・ フンボルトペンギン(2) 20種48点
貸し出し 動物	【哺乳類】 ニホンカモシカ(1)・グレビーシマウマ(2)・シンリンオオカミ(2) フンボルトペンギン(1)・ミーアキャット(2)・アミメキリン(1) 【鳥類】 スバーバルライチョウ(4) 7種13点

② 繁殖研究事業

ニホンザルやホンシュウジカ、オシドリなどの日本産動物の継続的な繁殖に努めた。また、国際希少野生動植物種であるカンムリシロムク、天然記念物のシラコバトの繁殖に成功し、繁殖個体を成育させた。また、平成29年から展示を開始したメンフクロウが当園で初めて繁殖に成功した。

さらに、国際希少野生動物であるアムールトラ、グレビーシマウマ、フンボルトペンギンや、日本産動物であるムササビやホンダヌキなどの繁殖研究を推進した。

主な繁殖動物

動物名	繁殖頭数	完全成育	繁殖区分	繁殖年月日
フンボルトペンギン	1	0	自然	4/10
ニホンザル	1	1	自然	4/27
メンフクロウ	2	1	自然	4/9, 16
ミーアキャット	1	1	自然	5/1
カンムリシロムク	3	2	自然	5/8, 31

オシドリ	1	1	自然	5/15
シバヤギ	1	1	人工	6/19
ホンシュウジカ	2	2	自然	6/23, 7/18
ニホンライチョウ	11	7	人工	7/3, 8/4, 5
トウホクノウサギ	3	0	自然	7/20
インドクジャク	2	2	人工	7/22, 23
モルモット	2	1	人工	7/25, 25
シラコバト	2	2	自然	11/1
ムササビ	1	—	自然	3/23
合計	33	21		

③ 教育普及事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、接触や密集による感染拡大を防ぐため、「キリンに木の葉をあげよう」、「オオカミにお肉をあげよう」、「コンタクトコーナー」や一部の催し物などは中止したが、動物の食事風景を見ることができる「ごっくんタイム」は対策を取りながら実施した。

さらに、カピバラ舎の新施設「カピバラの湯」公開に伴い特別展示およびガイドなどの催し物を企画・実施し、カピバラについての普及啓発に努めた。

また、飼育・繁殖にかかわる調査研究によって得られた成果や情報を、展示や印刷物、講演会などで発表した。

9月からは新型コロナウイルス感染者数が減少したことを受け、子供動物園では、「動物なるほど教室」を再開し、生物の多様性や人と動物のかかわり、命の大切さを伝えた。また、中止していた実習・研修についても、小・中学校の総合的な学習や大学の課外実習を受け入れた。

事業名	実施回数	参加者数
① どうぶつガイド		
キリンに木の葉をあげよう		中止
オオカミにお肉をあげよう		中止
希少どうぶつを知ろう！	10日	223名
② 子供動物園事業		
コンタクトコーナー		中止
動物なるほど教室	8日	432名
親子クラフト体験		中止

③ごっくんタイム	2, 219 回	12, 546 名
④催し物事業		
a. 飼育の日 ・「動物園の台所探検ガイド」		中止
b. ゴールデンウィーク ・ヒツジの毛刈り		中止
c. 国際生物多様性の日 ・パネル展示		中止
d. 世界カワウソの日イベント ・キーパートーク ・スペシャルごっくんタイム ・パネル展		中止
e. オウム・インコの日イベント ・キーパートーク ・スペシャルごっくんタイム	2 日	24 名
f. ホタルと夜とファミリーパーク ・動物解説 ・コンタクトコーナー		中止 中止
g. ドリームナイト・アット・ズー ・動物解説	1 日	301 名
h. 8 月夜間開園イベント ・動物スポットガイド ・夜のゆらゆら乗馬	2 日 2 日	3, 900 名 47 名
i. 悠久の森イベント		中止
j. 国際レッサーパンダデーイベント ・レッサーパンダ・ウォークラリー ・パネル展「守ろう！レッサーパンダの未来」 ・スペシャルごっくんタイム	73 日 73 日 5 回	28, 905 名 — 135 名
k. 秋の夜間開園イベント ・動物スポットガイド ・夜のゆらゆら乗馬	1 日 1 日	2, 450 名 33 名

1. 輝けいのちの集い 2020 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止		
m. ツシマヤマネコの日イベント ・パネル展「ツシマヤマネコ博士になろう！」 ・スペシャルごっくんタイム	29 日 8 回	— 135 名
n. 文化の日イベント ・「漢字で動物を調べてみよう」	30 日	—
o. レッサーパンダのお別れ会 ・「令和の思い出コーナー」 ・「レッサーパンダのお別れ会」	45 日 1 日	— 120 名
p. 「カピバラの湯」開湯記念イベント ・「カピバラ温泉」開湯式 ・動物ガイド「カピバラのくらしを知ろう」 ・パネル展「カピバラのくらし」 ・企画展示「冬限定！カピバラミュージアム」	1 日 21 日 77 日 76 日	50 名 344 名 — —
q. 冬季開園イベント ・クリスマスごっくんタイム 干支展イベント ・パネル展「丑・牛・ウシ」 ・「カモシカの巨大パネル」 ・干支特別ガイド「ウシの仲間の動物たち」 バレンタインイベント ・「カピバラにハートのリングプレゼント」	2 日 75 日 75 日 24 日 3 日	150 名 — — 366 名 240 名
r. 開園イベント ・ウォークラリー「ファミパでおハナ!!見 ラリー」 ・キリン舎探検ガイド	19 日間 6 日	3,685 名 94 名
⑤ファミリーパーク動物友の会 例会	3 回	81 名
⑥教育事業（実習・研修）		
a. 小学校・中学校 校外学習（総合的な学習など）	10 校	424 名
b. 大学実習 ・富山国際大学こども育成科学部	1 校	77 名
c. 問題を抱える子供らの自立支援事業 ・「園内ガイド」	1 団体	20 名

d. 社会人 ・とやま「月イチ読学部」	1 団体	20 名
⑦第 37 回富山市ファミリーパーク動物写生コンクール		
・応募		中止
・表彰式（特選）		中止
・入賞作品展示		中止
⑧第 45 回動物愛護に関する標語の募集		
・応募		中止
・入賞作品掲示		中止
⑨協賛・共催・協力事業		
a. 地域連携事業 古沢保育所「ファミリーパーク里山自然体験」	1 日	35 名
b. 外部への講師派遣	1 団体	14 名
・富山刑務所「社会復帰支援指導」での講演	1 団体	182 名
・呉羽中学校「先輩に学ぶ講演会」での講演		
c. 研究協力 ・山形大学 「ハクビシンやタヌキの種子散布の仕組みについて」 ・東京農業大学 「カモシカ眼下腺分泌液の成分について」 「ムササビ音声コミュニケーションについて」 ・中部大学 「飼育下のムササビの腸内細菌について」 ・大阪府立環境農林水産総合研究所 「カピバラを使ったヌートリア食性推定について」		

④ 在来馬保全活用事業

木曽馬や野間馬、対州馬などの在来馬の展示と保存に努めた。また、在来馬を活用した乗馬やエサやり体験は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら実施した。

⑤ ライチョウ保護増殖事業

今年度は、昨年度に引き続きより自然に近い方法での繁殖を目指し、2羽の母鳥による抱卵・育雛に取り組んだ。1羽の母鳥からは3羽が孵化したが1ヶ月の間に全てのヒナが感染症により死亡した。もう1羽の母鳥は抱卵を途中で放棄してしまったため、人工育雛に切り替え7羽のヒナを育成させ

た。また、来年度の繁殖に向けた取り組みとして、3月よりオス1羽とメス1羽のペアリングを開始した。現在、オス8羽、メス10羽の計18羽のニホンライチョウを飼育している。

⑥ホクリクサンショウウオ保護増殖事業

以前から継続飼育している呉羽丘陵産の個体により、飼育下での孵化技術の確立に向けた研究を行い生息域外保全に取り組んだ。

⑦里山生態園事業

平成30年に発生した里山生態園におけるニホンザルの脱出事故に対して有識者により今後の里山生態園のあり方について検討され、柵の補強整備によりニホンザルを再展示することとされたが、補強整備に係る費用の財源確保等に課題があることから、ニホンザルの展示再開は当面保留されることとなった。このため、展示テーマ「人と動物の共存」の実現に向けて、ニホンザル以外の動物の展示を維持した。

⑧富山市栗原路子記念熱帯鳥類保全事業への参画

今年度は、施設の整備に向けて富山市の基本設計および実施設計についての検討に参画した。

これにともない、令和3年度の建築工事着手、令和4年度の公開（予定）に向けて、展示テーマ「熱帯の鳥類の保全 ～熱帯の鳥類の多様性を知り、人と動物との共存を考える～」実現するため、展示動物の収集に向けた調査及び検討を開始した。

3. 地域事業

(1) 悠久の森事業

「悠久の森実行委員会」に加わり、地域施設や住民と連携して取り組んでいる、悠久の森フェスタや一部の事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

事業名		実施日数	参加者数
①悠久の森実行委員会（役員会含む）		1日	10名
②悠久の森コーディネーター会			中止
③悠久の森2020 森であそぼう			中止
④くれは悠久の森連携事業 （くれは里山ネット）	先生の手づくり和紙 卒業 証書を生徒達に	2日	53名

	夏休み梨狩り体験とファミリーパーク散策の集い		中止
⑤ホクリクサンショウウオ保全プロジェクト事業	出前授業	10 日	353 名
	生息地調査	0 日	0 名
	生息地整備	1 日	9 名
	サンショウウオの里親	81 日	27 名
合 計		91 日	452 名

(2) 輝け！いのちの集い事業

例年開催している「輝け！いのち集い」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

(3) 地域連携事業

地域の関係施設や団体と連携した多くの事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

事 業 名	実施日数	参加者数
① 富山市立古沢保育所 「ファミリーパーク里山自然体験」 (富山市立古沢保育所)	2 日	60 名
②ファミリーパーク出前講座 どうぶつのお話 (富山市立こども図書館)		中止
③にこにこクラブ 俳句吟行句会 (富山県高齢者・障害者福祉生活協同組合 にこにこクラブ)		中止
④アースディとやま 2020 (アースディとやま実行委員会)	1 日	リモート 開催
⑤森づくり塾 (とやま森づくりサポートセンター)	1 日	84 名
⑥長岡住民ふれあいフェスティバル 2019 (長岡地区自治振興会)		中止
⑦2020 華街道くれは祭り (富山市北商工会呉羽支所)		中止
⑧大工さんに出会う日 (富山地区建築組合青年部協議会)		中止

⑨不二越健康リフレッシュ (不二越健康づくり委員会)		中止
⑩なかよし合宿インくれば (富山県呉羽少年自然の家)		中止
⑪富山パイロットウォーク (富山パイロットクラブ)		中止
⑫仁右衛門まつり (古沢自治会)		中止
⑬屋外用時計の贈呈式 (富山西ライオンズクラブ)	1 日	11 名
⑭「かがくであそぼ！ワークショップ」 空想の動物園をつくろう (中部科学技術センター)	1 日	39 名
⑮富山こども大会 (富山市児童クラブ連絡協議会)		中止
⑯くればわくわくキッズ 秋の集い (富山県呉羽少年自然の家)		中止
⑰令和元年度「SDGs-ESD 富山シンポジウム」 (富山 E S D 講座委員会)		中止
合 計	5 日	183 名

(4) ボランティア活動支援事業

市民団体や企業による園内でのボランティア活動の誘致に努めるとともにその活動の支援を行ったが、一部の事業は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

団 体 名	活 動 名	実施日数	参加者数
① 市民いきもの メイト	総会・運営委員会等	10 日	83 名
	アースデイとやま 2020 参加	1 日	6 名
	くれば悠久の森 2020 出店		中止
	輝け！いのちのつどい出店		中止
	新年初顔合わせ		中止
	E S D 富山シンポジウム 参加		中止
	里山教室	3 日	55 名

② 呉羽丘陵にホタルを呼ぶ会	会合		中止
	ホタル学習会		中止
	会員によるホタル観察会	1 日	131 名
	富山市立古沢小学校 2・3 年生によるカワニナ採集・放流		中止
	ホタルと夜とファミリーパーク ホタル観察会		中止
	ホタル夜間開園・ホタル解説		中止
③ 富山県ホタルの会	総会		中止
	執行部会・役員会等	7 日	62 名
	北信越ホタル研究交流会		中止
	研修会	1 日	28 名
	ヒメボタル調査	10 日	12 名
④ きんたろう倶楽部	さとやまの木道整備	11 日	83 名
	ハーブ坂整備	8 日	41 名
	呉羽丘陵竹林整備ボランティア	1 日	75 名
	きんたろうの森・わくわくの森整備	15 日	134 名
	総会・記念講演会		延期
	悠久の森 準備・実施		中止
	輝け！いのちの集い 2020		中止
	森づくり安全講習会	1 日	10 名
	森のコンサート	1 日	100 名
	くれは NAVI 養成講座	1 日	26 名
	竹林整備片付け	3 日	18 名
⑤ 富山市体育協会	とやま健康ウォーク 2020・呉羽丘陵ウォーク		中止
⑥ 呉羽丘陵フットパス推進会議	呉羽丘陵フットパス月いちウォーク	9 日	1119 名
	フットパス整備	10 日	102 名
⑦ 古沢地区ボランティア	植樹地草刈	3 日	15 名
	開園前清掃ボランティア	1 日	53 名

⑧ 富山ライオンズクラブ 1R2Z 合同アクティビティ	植栽剪定	1 日	41 名
合 計		95 日	2,160 名

(5) 活性化事業

新型コロナウイルス感染拡大の状況をみながら、感染防止対策を徹底し、夏休みイベントや秋のナイトズー等、時季に合わせたイベントを実施した。なお、ゴールデンウィークは臨時休園中だったため、イベントは実施しなかった。

事 業 名		実施日数	参加者数
① パステルアート	クリスマスカード、バレンタインカード作り	2 日	42 名
② GW イベント	GW里山の動物クイズ		中止
	里ノ助の一日園長		中止
	里ノ助とあそぼうスペシャル「みんなでおどろう」		中止
	里ノ助のきまぐれ散歩		中止
③夏休みイベント	里山の動物オリエンテーリング	40 日	15,780 名
④8 月ナイトズーイベント	夜のいきもの観察会	1 日	300 名
	六せん広場にライチョウを描こう	1 日	—
⑤9 月ナイトズーイベント	夜のいきもの観察会	1 日	200 名
	六せん広場にライチョウを描こう	1 日	—
⑥秋イベント	ハロウィンステージ	8 日	—
	ハロウィンのお菓子バックをつくろう	1 日	33 名
	里ノ助のハロウィン散歩	3 日	76 名
	しっぽストラップをつくろう	1 日	35 名

	シカの角ストラップづくり	1 日	34 名
	コスモスの押し花でしおりをつくろう	1 日	52 名
	里ノ助とあそぼうスペシャル「里ノ助の運動会」	4 日	491 名
⑦クリスマスイベント	クリスマスカップル無料デー	2 日	(128 組) 256 名
⑧冬期開園イベント	スタンプカードで景品プレゼント	74 日	771 名
	干支の缶バッジプレゼント	20 日	224 名
	羊毛でウシのマスコットをつくろう	1 日	17 名
	カフェ里ノ助～園長とコーヒーブレイク	1 日	9 名
⑨バレンタインイベント	バレンタインカップル無料デー	2 日	2,535 組 5,070 名
⑩春開園イベント	里ノ助のお出迎え	1 日	20 名
	カレンダープレゼント	2 日	280 名
	ライチョウ マスコットキャラクター大集合	1 日	40 名
	呉羽高校 書道パフォーマンス	1 日	100 名
	春の押し花しおり作り	2 日	39 名
⑪里ノ助イベント	里ノ助のチョコチョコじゃんけん	3 日	260 名
	里ノ助とあそぼう	8 日	158 名
合 計		183 日	24,287 名

(6) 夜間開園事業

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、夜の動物や里山の自然を楽しむことができる夏の夜間開園を実施した。なお、6月のホタル観察会は中止とした。

事業名	実施日数	入園者数
① ホタルと夜とファミリーパーク 2020		中止
② 夏の夜間開園	2 日	6,352 名

③ 9月の夜間開園	1日	4,806名
合 計	3日	11,158名

(7) 広報事業

ファミリーパーク通信「グルーミング」を発行し、市内全小学生に配布するなど、ファミリーパークに関する各種情報や実施事業の案内など情報の発信に努めた。

イベントに関するリーフレットを市内および近隣市町村の保育所、幼稚園に積極的に配布し、ファミリーパークの事業をより多くの方に周知することに努めた。また、県内にも雑誌や新聞、テレビ等の媒体で周知をおこなった。

インターネットを用いた広報としては、既存のホームページ、フェイスブック、ツイッターを運用した他、4・5月の新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休園期間中にはYOUTUBEを新たに開始し、毎日更新を行うことでオンラインで展示・普及活動を継続した。ファミリーパークのホームページの年間アクセス数は、627,034件となった。また、ツイッターでは5,831,212回の閲覧があり、YOUTUBEでは、37,384回の再生回数があった。

このほか、富山市広報課を通じて年間84件の報道リリースを行い、新聞、テレビ、ラジオなどの取材に積極的に対応した。

主な報道リリース

期 日	タ イ ト ル
4月26日	アミメキリンの死亡について
6月17日	二ホンライチョウの産卵について
6月24日	ドリームナイト・アット・ザ・ズーの開催について
6月27日	ミーアキャット親子の展示について
7月3日	二ホンライチョウの孵化について
7月9日	二ホンライチョウヒナの死亡について
7月17日	里山の動物オリエンテーリングについて
8月12日	ナイトズーについて
9月11日	レッサーパンダデーについて
11月24日	動物たちの冬支度について
11月24日	カピバラ露天風呂の公開と関連イベントについて
1月9日	臨時休園について
2月3日	バレンタインイベントについて
3月2日	ホクリクサンショウウオの産卵について

3月5日	富山西ライオンズの屋外用時計の贈呈式について
3月5日	春の開園について

4. 里山事業

(1) 里山活用事業

里山の見どころをホームページや園内情報掲示板で発信するとともに、園内に生息する野鳥、昆虫、草花など、季節ごとの見どころをテーマとした「自然だより」や「里山情報」を園内掲示し、情報発信を充実した。

また、「呉羽丘陵フットパス月いちウォーク」の実施や「とほ活 ファミリーパークラリー」を通して、呉羽丘陵でのウォーキングを推進し、回遊性並びに地域の情報発信の拠点としての機能を強化し、利用者の増加に努めた。

事業名	実施日数	参加者数
① 「ホタルと夜とファミリーパーク」 ホタル観察会		中止
② とほ活 ファミリーパークラリー	8月13日 より常時 設置	150名
③ ムササビ村 観察モニター	常設展示	—
④ 野鳥観察舎 情報展示	常設展示	—
⑤ 園内自然散策路「自然だより」	常設展示	—
⑥ 園内情報掲示板「里山情報」	常設展示	—
合 計		101名

(2) 里山保全管理事業

ホタルのおやどや湿地帯の管理を行ない、ホタルやカエルなどの水生生物の生息環境の保全に努めた。また、絶滅危惧種であるホクリクサンショウウオの産卵地の確保・維持に努めた。

また、東老田自治会と協力し、園内・六泉池の池干しと外来魚の捕獲・駆除を行うことで、ため池の生態系の保全に努めた。

(3) 里山整備研究事業

自然散策路の整備を行ったほか、二次林に侵出したモウソウチクやコナラ植樹地林内の藪の除伐を行い、自然植生の保護と復元に努めた。

(4) 呉羽丘陵フィールドミュージアム推進事業

呉羽丘陵フィールドミュージアム形成に参画し、富山大学と共同で冒険教育プログラムを作成した。地域から出る梨剪定枝ペレットを熱源利用するペレットストーブを購入し、燃焼実験を行った。また、呉羽丘陵を利用した環境プログラムの開発と実践を目的に、富山市立五福小学校5年生による自然散策、竹林整備体験を実施した。

事業名	実施内容
1. 製炭事業	梨剪定枝ペレットの熱源利用、利用調査
2. 環境教育事業	動物・里山教育等環境教育プログラムの開発

5. ライチョウ基金事業

富山市ファミリーパークでは富山市が環境省から確認を受けた「ライチョウ保護増殖事業計画」のもとで、平成27年より公益社団法人日本動物園水族館協会（JAZA）およびライチョウ飼育園館と協力し、生息域外保全における飼育繁殖技術の確立を目指している。本事業では、基金運営委員会を組織し、基金の適正管理および基金を活用した事業に関することを審議し、JAZAが実施する「ライチョウの飼育繁殖技術の確立事業」に必要な事業の支援を行った。

(1) 基金運営委員会について

当基金はライチョウ保全にのみ充てられるという特性をもつものであり、なおかつ民間資金を原資とすることから、6月にライチョウ基金運営委員会を委員会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面表決とし、次の事項を審議した。

- ① 基金の適正管理に関すること
- ② 基金を活用した事業に関すること
- ③ その他基金の管理・運営に関して必要な事項

(2) JAZA が取り組む「ライチョウの飼育繁殖技術の確立事業」への支援

- ①産卵数の抑制および有精卵率、孵化率、成育率の向上などを課題とした繁殖の取り組み
- ②今後検討される野生復帰の技術開発を視野に入れた繁殖の取り組み。
- ③飼育繁殖技術の確立を目指した大学との共同調査研究
- ④各園館および共同調査研究に取り組んでいる大学の取り組みの内容及び結果を共有し、共通課題の抽出、今後の計画を策定するための会議の開催。

6. 収益事業等

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、食堂の座席数を減らしたり、手指消毒液や飛沫防止のためビニールシートの設置等対策をしながら営業した。

(1) 売店・食堂等

事業名	実施日数	数
① 移動販売車（悠々ワゴン）でのアイスクリーム販売	11 日	1,558 個
② 栗拾い体験	4 日	45 名
③ ナイトズー「牛乳パックでランタンをつくろう」	3 日	508 名
④ サマージャンボ宝くじ販売	32 日	

(2) ホースライド事業

事業名	実施日数	参加者
① 在来馬を活用した事業		
ゆらゆら乗馬（木曽馬）	223 日	1,744 名
野間馬馬車		中止
障害者乗馬会 「障がいのある方のための乗馬会」		中止
乗馬教室（上級）	7 回	7 名
乗馬教室（初級）	10 回	10 名
② 夏休み 馬の学校(中止)	—	—
③ ドリームナイト・アット・ザ・ズー体験乗馬	—	—
④ ナイト乗馬	3 日	80 名
⑤ 呉羽青少年自然の家主催 乗馬体験 ・「なかよし合宿 イン くれは」 ・「くれはわくわくキッズ 秋の集い」		中止 中止
⑥ エサやり体験	242 日	34,371 名

7. 公益財団法人富山市ファミリーパーク公社役員について

(令和3年3月31日現在)

(1) 評議員会

評議員	稲 葉 實	里山倶楽部理事長
評議員	酒 井 忠 彦	富山市ファミリーパーク動物友の会会長
評議員	田 畑 裕 二	元富山西ライオンズクラブ会長
評議員	谷 井 隆 彦	富山市建設部公園緑地課長
評議員	中 村 敏 之	富山市建設部次長
評議員	廣 本 幸 雄	市民いきものメイト会長
評議員	村 藤 幸 作	古沢地区自治振興会会長

(2) 理事会

理事長	三 浦 良 平	富山市副市長
常務理事	帯 刀 宏 隆	富山市ファミリーパーク公社
理事	岩 城 弘 一	富山市北商工会呉羽支部長
理事	鏡 森 定 信	前きんたろう倶楽部理事長
理事	川 腰 清 志	呉羽地域連合自治振興会会長
理事	舟 田 安 浩	富山市建設部長
理事	安 井 俊 夫	輝けいのち協議会会長
監事	奥 村 信 雄	呉羽ハイツ支配人
監事	高 野 聡	富山市会計管理者

8. 理事会等議決事項について

(1) 評議員会 令和2年4月1日開催

- ・理事の選任について

(2) 理事会 令和2年4月1日開催

- ・理事長の選定について

(3) 理事会 令和2年5月27日開催

- ・令和2年度補正予算について
- ・令和元年度事業報告について
- ・令和元年度収支決算について
- ・定時評議員会の招集について
- ・役員の改選に伴う理事及び監事の推薦について
- ・評議員の改選に伴う評議員の推薦について

(4) 評議員会 令和2年6月10日開催

- ・令和元年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）並びに付属明